

講演番号：3A25p08

講演日時、会場：3月 26 日 15:24～ A 校舎 25 会場

アルギン酸はストロンチウムおよびセシウムの吸収を抑制し、排泄を促進する

Alginate Enhances Excretion and Reduces Absorption of Strontium and Cesium in Rats

○原田 瞳¹、井戸田 陽子¹、森本 かおり¹、矢野 健太郎¹、小林 彰子²、柿沼 千早¹、宮島 千尋³、笠原 文善³、荻原 琢男¹（¹高崎健康福祉大学薬学部、²東京大学大学院農学生命科学研究科、³株式会社キミカ）

○Hitomi HARADA¹, Yoko IDOTA¹, Kaori MORIMOTO¹, Kentaro YANO¹, Shoko KOBAYASHI², Chihaya KAKINUMA¹, Chihiro MIYAJIMA³, Fumiyo Shi KASAHARA³, Takuo OGIHARA¹ (¹Faculty of Pharmacy, Takasaki University of Health and Welfare, ²Graduate School of Agricultural and Life Science, The University of Tokyo, ³Kimica Corporation)

【目的】アルギン酸 (alginic acid :ALA) は天然の褐藻類に含まれる多糖類であり、食品添加物や健康食品あるいは医薬品の原料として使用されている。また、そのナトリウム塩(ALA-Na)はストロンチウム(Sr)の体内取り込みを低減させる作用を有することが報告されている¹⁾。しかしながら ALA-Na の服用はナトリウムの過剰摂取に繋がる危険性がある。そのため、他の塩においても同様な Sr 吸収抑制効果が認められ、さらに Sr に対してだけでなくセシウム(Cs)においても同様な作用が認められれば、ALA の有用性はさらに増すものと期待される。そこで本研究では ALA-Na およびアルギン酸カルシウム(ALA-Ca)による Sr および Cs の吸収抑制および排泄促進効果を検討すると同時に、その安全性を検討した。

【方法】各種濃度の ALA-Na 溶液に塩化ストロンチウム(SrCl₂)または塩化セシウム(CsCl)を加え、メンブレンフィルターを用いて遠心分離し、フィルター透過率を算出することにより ALA-Na の Sr および Cs 吸着作用を検討した。また、ラットに通常飼料(control 群)または ALA-Na あるいは ALA-Ca 含有飼料を 14 日間与え、経時的に血漿中 Sr または Cs 濃度を測定し、その排泄促進効果を検討した。さらに、これらの飼料を 14 日間与えたラットに Sr または Cs の溶液を経口投与し、経時的に血漿中の Sr または Cs 濃度を測定し、吸収抑制効果を検討した。加えて、同様に 14 日間飼育したラットの生化学検査および病理解剖を行い、各種血中パラメータおよび主要臓器への影響を観察し、安全性を評価した。

【結果・考察】*in vitro* の検討において、ALA-Na はその濃度依存的に Sr および Cs を吸着した。またその効果は、Sr, Cs 共存下では Sr の方が強く現れた。ラットに ALA-Na または ALA-Ca 含有飼料を与えたところ、control 群と比較して血中の Sr 濃度は徐々に低下したが、Cs の濃度は ALA-Ca 投与群でのみ低下した。さらに、Sr または Cs 溶液を経口投与したとき、control 群と比較して Sr のラット血漿中濃度は ALA-Na および ALA-Ca いずれでも低下したが、Cs の濃度は ALA-Ca においてのみ低下が認められた。安全性評価において、ALA-Na 摂餌ラットでは、腎乳頭上皮細胞および腎孟上皮細胞へのミネラルの沈着が観察された。一方、ALA-Ca 摂餌ラットにおいてはこのような異常は観察されなかった。これらのことから ALA-Ca には Sr のみならず Cs の排泄促進および吸収抑制効果があるものと考えられ、安全性評価の結果からも ALA-Ca の有用性が支持された。

1) Hesp R., Ramsbottom B., *Nature*, 5017, 1341-1342 (1965).